

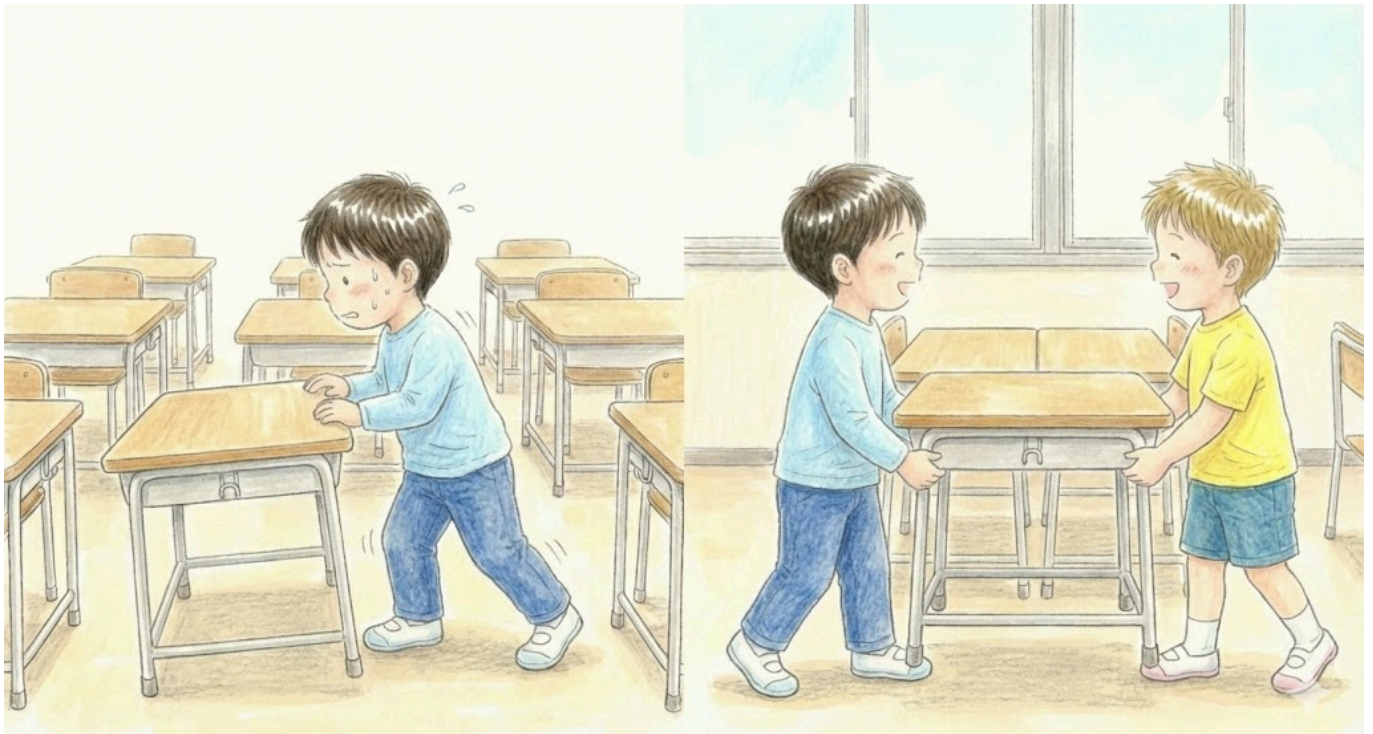


がっこう じゅぎょう 学校の授業では、ふたりぐみ きょうりよく やグループで協力して作業 ぎょう をしたりすることがあります。

ひとり さぎょう で作業をすると、すべてのことを自分で決めて、自分で進めることができます。これは、自分のペース まも を守れるので、とても集中 しゅうちゅう できる方法 ほうほう です。

一方で、他の人 ほかひと と一緒に いっしょ 作業 さぎょう をすることには、別の べつ 「便利 べんり な点 てん」があります。





一つ目は、「<sup>じかん</sup>時間が<sup>たんしゆく</sup>短縮できること」です。例え  
ば、<sup>おも</sup>重い<sup>つくえ</sup>机を<sup>はこ</sup>運ぶ<sup>とき</sup>時や、<sup>しりょう</sup>たくさんの<sup>じゅんび</sup>資料を準備する  
<sup>とき</sup>時、<sup>に</sup>二人で<sup>ぶんたん</sup>分担すれば<sup>ちから</sup>力も<sup>じかん</sup>時間も<sup>はんぶん</sup>半分で<sup>す</sup>済みます。  
<sup>はや</sup>早く<sup>さぎょう</sup>作業が<sup>お</sup>終われば、<sup>ぶん</sup>その分、<sup>じぶん</sup>自分が<sup>じゆう</sup>自由に<sup>つか</sup>使える  
<sup>じかん</sup>時間が増えるかもしれません。





二つ目は、「自分にはないアイデアを知れること」です。自分一人で考えていると、行き詰まることがあります。そんな時、隣の人が「こうしてみたら？」と自分とは違う考えを教えてくれることがあります。それを聞くことで、もっと楽に、もっと良い作品が作れるようになるかもしれません。







ふたりぐみ 二人組やグループで活動する時は、まず「自分<sup>じぶん</sup>はこれをやるね」と自分<sup>じぶん</sup>の分担<sup>ぶんたん</sup>を決めたり、相手<sup>あいて</sup>のやり方を「なるほど」と眺<sup>なが</sup>めることから始めます。

もし、やり方<sup>かた</sup>がわからなくて困<sup>こま</sup>った時は、隣<sup>となり</sup>の人に「どうすればいいかな？」と短<sup>みじか</sup>く聞<sup>き</sup>いてみるのも一つ<sup>ひと</sup>の方法<sup>ほうほう</sup>です。





じょうきよう あ ひ とり だ れ きょうりよく  
状況に合わせて、一人でやるか、誰かと協力するか  
え ら がっ こう かっ どう こう り つ  
を選ぶようになると、学校での活動がもっと効率  
よく、スムーズに進むようになるでしょう。

